

新たな価値の創造を担う 日本工業大学の 高い研究力!

2022年4月 **Topics!**
データサイエンス学科が
スタートしました

NIT Open Campus

日本工大には、ここでしか得ることができない
さまざまな魅力があります。
オープンキャンパスでは是非その魅力を体感してください

7.16[±] 7.30[±]・31^日

※詳細は本学Webサイトをご覧ください

基幹工学部

・機械工学科
・電気電子通信工学科
・応用化学科

先進工学部

・ロボティクス学科
・情報メディア工学科
・データサイエンス学科

建築学部

・建築学科
建築コース
生活環境デザインコース

日本工業大学

埼玉県南埼玉郡宮代町学園台4-1 <https://www.nit.ac.jp>

大宮から
29分

新白岡駅まで
JR 上野東京ライン・湘南新宿ライン・宇都宮線で
17分 + スクールバス 12分

北千住から
44分

東武動物公園駅まで
東武スカイツリーライン (急行) で
39分 + スクールバス 5分

※列車の運行状況により異なる場合があります。

どの山のどんな木でもスイスイ登る? 未来の林業を支える ロボットを目指せ

働く人が減少している産業でのロボット活用が、近年注目されています。

日本の産業の中では、特に農林水産業など
第一次産業の労働力不足が深刻です。

私は、日本の国土の大半を占める森林の保全を
担っている林業に着目しています。

林業では傾斜地での重量物の運搬や高所で刃物を
使うなどの危険な作業を伴います。

人間とロボットが協力して林業に臨むことができれば、
問題解決の一助になるはず。

そこで「森林作業支援ロボット」の
研究開発を進めています。

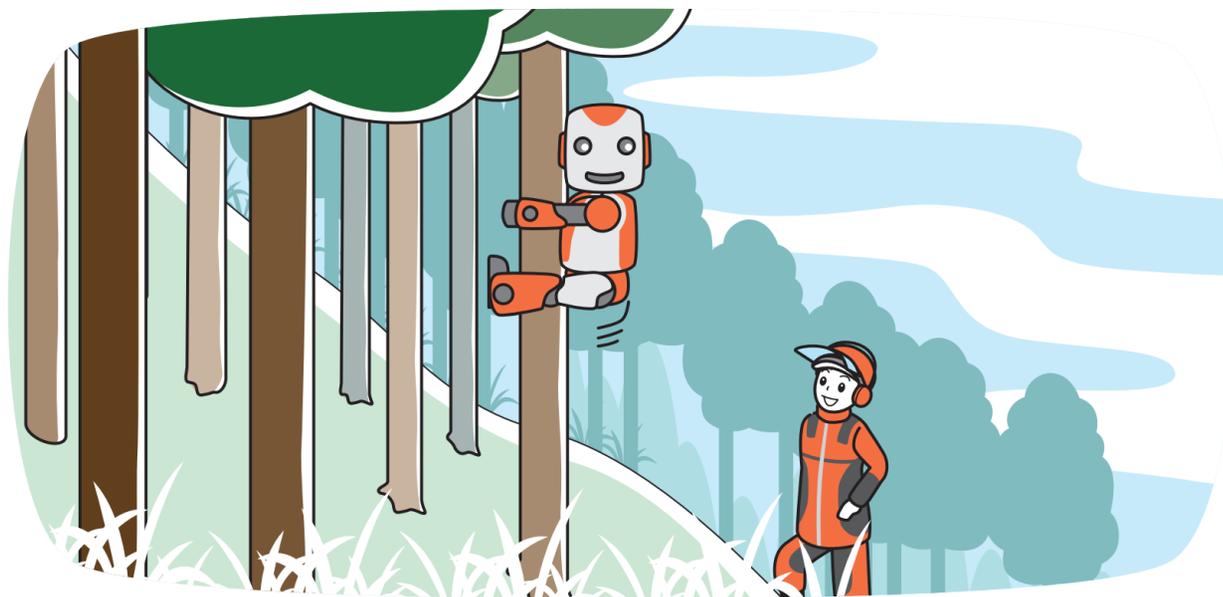
種類や大きさ、形もさまざまな
「木」を扱うため、ロボット化は困難を極めます。

現在取り組んでいるのは、
軽くて持ち運びやすい「木登りロボット」です。
どんな状態の木でも、樹上で止まることなく
登り下りできる性能を目指しています。

森林は、木だけでなく貴重な水資源も育んでくれます。
自然に恵まれた日本だからこそ、

環境の保全のためにすべきことがたくさんあります。
ロボットが人間にとって役立つ存在となるよう
常に模索しながら研究開発を続けます。

榎橋 康博 (先進工学部 ロボティクス学科 准教授)



Webで
動画を公開中!

NIT トレインラボ
で検索 🔍

先進工学部 ロボティクス学科 フィールドロボティクス研究室

TRAIN LABO NO. 35